

# 木製の電話機

ゆきや (2019. 2. 23)

可愛らしい木製の電話機です。前面に並んだ押しボタンがいくつか動かなくなりました。引っ込んだままだったり、横を向いたり。



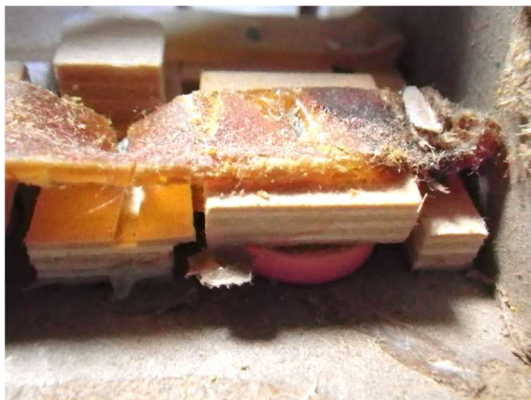
以前修理した木製のレジスターは、裏側に付けたゴムの弾力で、ボタンを押していました。さて、これはどんな仕掛けでしょうか？

底板を外すのは。なかなか大変でした。木というよりは厚紙を固めたもので、カッターで切りながら、ようやく開けました。



底から内部をのぞいて見たのが、右の写真です。なんと使われていたのは、生ゴムのベルトでした。それをボタンの底部にステーブルで留めています。

不思議なのは4段のゴムの内、1段目と3段目はまったく無傷で、2段目と4段目がボロボロでした。経年劣化なのでしょうが、同条件の中で、こうも違うものなのでしょうか？



修理には平打ちのゴム紐を使いました。ゴム系の接着剤を使い、念のためホッチキスの針で留めておきました。

